

平成30年度第1回田川市再生可能エネルギー農山村活性化協議会 会議事録

日 時：平成31年3月27日（水）13：00～14：00

場 所：田川市民会館 講堂

出席者：別紙資料

田川市再生可能エネルギー農山村活性化協議会について（事務局）

- ・田川市再生可能エネルギー農山村活性化協議会規約の承認について

承諾書にて田川市再生可能エネルギー農山村活性化協議会規約の承認を確認。

- ・資格審査について

会議は構成員の過半数をもって成立（規約第13条）することから構成員15名のうち13名が出席ということで本会議が成立したことを報告。

- ・役員を選任について

構成員からの立候補がなかったため、事務局の一任により、会長に田川市建設経済部長須藤乃式、副会長に田川普及指導センター長藤井茂樹と決定。

議 事

- 1 農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー電気の発電の促進に関する法律について（九州農政局）

- 2 田川市木質バイオマス発電事業計画の提案内容について（南国殖産株式会社）

質問：ダイオキシンと臭いの問題について（ほしい農事組合）

回答：基準等はクリアしているが、地元説明を行う予定。（南国殖産株式会社）

質問：資材搬入、資材の確保について（糶水利組合）

回答：病害虫については、チップの搬入となっており、破碎する時点で虫の侵入は問題ないと考えている。（九州パーク）

資材の確保については、現段階でも対応できると考えている。（九州パーク）

質問：地元の理解、周知への対応について（糶区長）

回答：地域には迷惑をかけないように、説明会を実施し理解、周知を徹底する。

（南国殖産株式会社）

3 他市町村基本計画事例について（大分県日田市・宮崎県日南市）

協議会による事業提案内容の協議をおこない、田川市が基本計画を作成する。

（規約第4条）

4 今後のスケジュールについて

5月中旬に第2回協議会を開催予定とし、田川市が作成する基本計画の案を提示。

5 その他

(平成31年3月27日現在)

	構 成 員	役職	氏名	主な役割 (再エネ法手引きより)
市 (行政)	田川市	建設経済部長	須藤 乃式	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の主宰 ・基本計画の作成
農林漁業団体	有限会社ほしい農事組合	代表取締役	野中 栄蔵	<ul style="list-style-type: none"> ・発電設備の整備予定地やその周辺地域における農林漁業生産の状況・計画の説明 ・「農林漁業の健全な発展に資する取組」への知見の提供や協働
	筑豊地区木質バイオマス推進組合	会長	荒木 光子	
	有限会社九州パーク運輸	代表取締役	林 晃一	
	田川農業協同組合	営農部長	永末 智	
事業者	南国殖産株式会社	係長	尾堂 正和	<ul style="list-style-type: none"> ・発電設備の整備計画、予定している「農林漁業の健全な発展に資する取組」の内容を説明
	加賀デバイス株式会社	部長	大橋 一真	
関係住民	地元区長(楠地区)	区長	清水 博文	<ul style="list-style-type: none"> ・発電設備が居住地域に整備される場合、自然環境、生活環境等への影響を踏まえたものとなるよう意見の表明 ・市民出資等を通じた協働
	楠水利組合	事務局長	迫矢 節郎	
		会計	朝香 義典	
県 (行政)	福岡県飯塚農林事務所関係課	農山村振興課長	八尋 康德	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令等に関する助言 ・「農林漁業の健全な発展に資する取組」への知見の提供
学識経験者	福岡県飯塚農林事務所 田川普及指導センター	センター長	藤井 茂樹	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーや地域活性化などに関する専門的な知識の提供や協働
	株式会社森のエネルギー研究所	九州営業所長	佐藤 政宗	
オブザーバー	農林水産省 九州農政局 経営・事業支援部 食品企業課	課長補佐	岩永 香織	<ul style="list-style-type: none"> ・農山漁村再生可能エネルギー法の活用に係る支援 ・他地域における再生可能エネルギー発電に係る取組の紹介
		再生可能エネルギー推進担当	宮嶋 浩二	
事務局	田川市 産業振興課			協議会に係る事務